

お客様各位

HT1070-U00 仕様変更のご案内

拝啓

貴社ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さてご採用いただいております HT1070-U00 ですが、使用しておりますカレンダー時計 IC の S-3531A(SII)が保守品となりましたため、S-35390A に変更となります。S-35390A のレジスタは S-3531A のものと類似ですが上位互換ではないため、ソフトウェアの変更が必要となる場合がございます。お客様にはお手数をおかけし恐縮ではございますが、下記の手順に従いご確認・ご対応くださいますようお願い申し上げます。

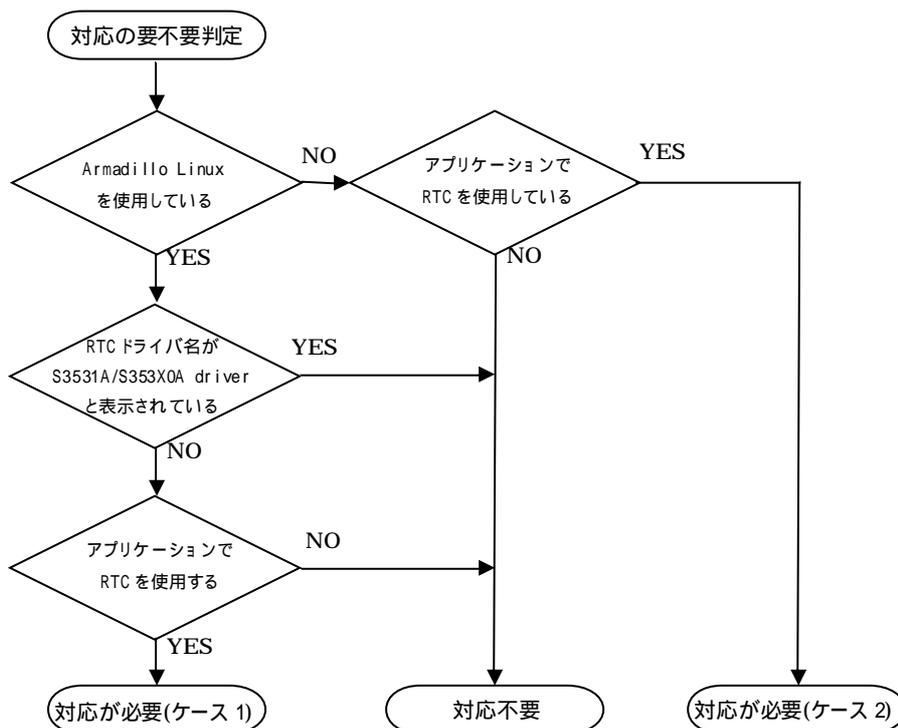
お客様には本変更之际ましてご迷惑をおかけいたしますことをお詫び申し上げますとともに、HT1070 の長期安定供給のためなにとぞご理解くださいますようお願いいたします。

その他ご不明の点がございましたら、TEL0120-024768 または info@umezu.co.jp 宛お問い合わせください。末文ながら、今後ともよろしくご指導くださいますようお願いいたします。

敬具

記

RTC 変更に関するソフトウェアの対応が必要かどうかの判定



ケース 1 の場合

S-3531A/S-35390A 両方に対応した RTC ドライバを含んだカーネル(2.4.16/2.4.21)バイナリおよびソースを用意しておりますので、オンボードフラッシュ/コンパクトフラッシュのカーネルを差し替えしてください。これらのカーネルバージョン名の Extraversion 部の相違により modprobe が検索するパス名が見つからないエラーが発生することがあります。(ただし modprobe は検索を続け、違う Extraversion 名のモジュールをロードするため通常支障はありません。) このエラーを抑止するには、lib/modules 下のカーネルバージョン名のディレクトリを正しい名称(2.4.16-rmk2-armadillo-3または2.4.21-rmk1-armadillo-3)に変更するか、旧ディレクトリ名からのシンボリックリンクを作成してください。

ケース 2 の場合

S-35390A のデータシートを参照し、お使いの OS 用の RTC ドライバを書き換える必要があります。このとき、従来製品との互換性を考慮し、S-3531A の搭載された HT1070 でも動作するようにドライバを書き換えることを推奨します。

移行スケジュール

S-3531A 搭載の HT1070-U00 は、2007 年 8 月 31 日までにご注文くださいますようお願いいたします。2007 年 9 月 1 日以降の受注分につきましては、S-3531A 搭載製品の在庫がなくなり次第 S-35390A 搭載製品に切り替えとなります。なおこの切り替えにより、HT1070-U00 はすでに出荷されている RoHS 準拠製品 HT1070-U00G と同一仕様となります。

2007 年 9 月 1 日以前に S-35390A 搭載の HT1070-U00 が必要な場合、型式を HT1070-U00G としてご注文ください。

カーネルバイナリ・ソースの入手方法

Armadillo 公式サイト(<http://armadillo.atmarktechno.com>)にて入手できます。また 2006 年 3 月 20 日より配布しております開発セット添付 CD マニュアルにも収録済みです。S-35390A に対応したカーネルのバージョンは次の通りです。

- ・Linux 2.4.16-rmk2-armadillo-3

- ・Linux 2.4.21-rmk1-armadillo-3

HT1070 マニュアル CD ご希望の場合は技術推進部までご連絡ください。

以上